

財全バイオマスエネルギープラント説明資料



株式会社財全エネシフトは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

SDGs CO2削減循環型社会形成事業 ～エネルギーと食の地産地消～



株式会社財全エネシフト

<https://zaizen-eneshift.co.jp/>

1. 事業沿革

- 2014年 … 北中城村に当時建設が始まったイオンライカムの食品残渣を活用したバイオマス事業調査を開始
- 2016年 … 上記事業を事業化するにあたり、民間企業ではかなりの制約があると判断し、違う土地での事業化に転換。
- 2018年 … セブン-イレブン・沖縄様の店舗展開にバイオマス事業が参画出来るか協議を開始。
- 2020年 … セブン-イレブン・沖縄様との食品リサイクル協議を開始。
- 2021年 … 浦添市市有地活用型プロポーザルで採択される。
- 2021年 … 浦添市のプロポーザル採択後事業化に向け許認可取得開始。
- 2022年 … 施設建設着工。

現在に至る。

2. 本事業の目的

- ① 沖縄県内でのエネルギーと食の地産地消を食品リサイクルループで実現し循環型社会形成に貢献する
- ② 県内外の子供達に、本事業を通じて食育と環境教育を実施し、循環型社会形成の重要性を認知して頂く

施設見学



作業体験



学校給食



※画像はイメージです

3. 地域でエネルギーと食の地産地消イメージ（食品リサイクル）



※画像はインターネット上より引用



食品循環資源の供給

食品循環資源の排出
セブン-イレブン沖縄様・武蔵野沖縄様

＜食品リサイクルの循環資源排出＞
○武蔵野沖縄様及びセブン-イレブン・沖縄様各店舗より排出される食品循環資源を、食とエネルギーの地産地消を前提として排出する。



※画像はインターネット上より引用

農産物の供給



農産物の生産
財全エネシフト及び提携農家

＜耕作放棄農地を積極的活用＞
○セブン-イレブン・沖縄様各店舗で使用される農産物の一部を食品リサイクル由来土壌改良剤を活用し生産。
○地域の子供達に農作業体験等を実施し食品リサイクルの大切さを伝えていきます。



土壌改良剤の供給

土壌改良剤製造・発電施設
(財全エネシフト)

＜土壌改良剤の製造・発電施設の設置＞
○食品循環資源から土壌改良剤を製造。
○食品循環資源を原料にし電気・温熱を創出。
○県内外の子供達を受け入れ、食と環境教育・再生可能エネルギー施設見学を実施。

売電



4. 来年度以降の取り組み（予定） ・ 食育・環境教育



※画像はイメージです



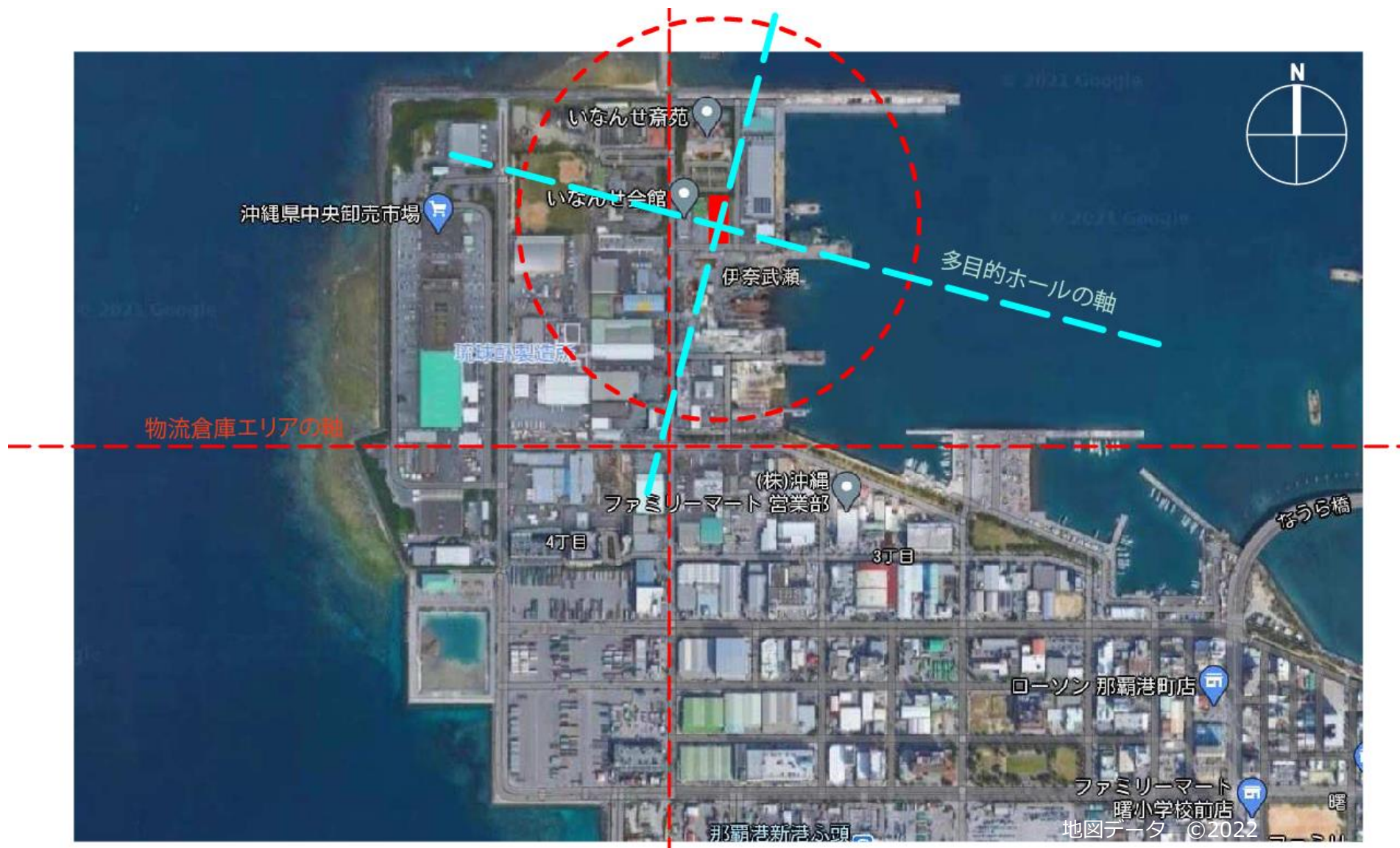
小学生から大学生までの児童や生徒を対象に、「エネルギーと食の地産地消」及び「六次産業化の実例」を直接感じて学んでもらえるよう、環境教育の場として開放していき、職業体験等も受け入れていく予定。

子供たちに食品リサイクル施設の見学や循環型農業を直接体験して頂けることにより、地域資源の有効活用大切さを幅広い視野で学ぶことができる。

5. 財全バイオマスエネルギープラント



6. 財全バイオマスエネルギープラント 浦添市伊奈武瀬



7. 多目的セミナーホールとSDGsを目的とした工場用地の活用

